

小合中学校 CS 通信 No.7

新潟市立小合中学校
令和6年3月1日(金)
発行 小合中 CS 事務局

令和5年度 学校運営協議会 (コミュニティ・スクール、略称 CS)

令和5年度 第4回 学校運営協議会 開催

早春の候 日頃より学校運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
さて、第4回学校運営協議会が2月21日(水)に開催されましたのでその概要をお伝えいたします。

◆ 次第

◇ 授業参観 13:45~14:35

1 開会のあいさつ(校長)14:45~

2 審議 14:50~

- (1) 令和6年度小合中学校教育ビジョンについて
- (2) 次年度の学校運営協議会合同会について

3 その他 15:30~

- (1) 部活動の地域移行について
- (2) 次年度の学校運営協議会について

4 閉会のあいさつ(教頭)15:55~



■ 学校運営協議会委員参加者(敬称略)

古田 治 (小合地区民生児童委員会 会長)

稲月正樹 (小合地域コミ協 副会長)

澤田賢二 (小合ブロック青少年健全育成会 会長)

藤田みえ子 (保護司)

近藤陽一 (小合中学校同窓会 副会長)

小林功平 (小合中学校 PTA 会長)、木村哲朗 (薬科大学教授)、大竹悦子 (保護司)

古川雅美 (地域教育 Co.)、太田公仁 (校長)、井浦博男 (地域教育 Co.)

■ 授業参観(委員による)

会議の前に参加委員で3年生の総合的な学習発表会を参観しました。

小合の魅力スポット紹介



1 太田校長あいさつ(学校の最近の様子)

来月3月4日に卒業式を予定しています。

本日は令和6年度の教育ビジョンの審議をお願いいたします。

2 審議

(1) 令和6年度「小合中学校の教育ビジョン」について ※校長より説明と提案があり承認されました

◇ 重点項目1 学力の向上 ICTを活用した授業づくり

◇ 重点項目2 ①自立を促す生徒指導の推進 ②自己管理能力の育成を目指した生徒指導、学習指導

◇ 重点項目3 特別支援教育の推進

(裏ページもご覧ください)

【各委員の意見】

- ICT を有効活用した授業は社会に出た時に役に立つと思った。
- 小合の良い所巡りなどはコミ協と一緒に作っただろうか。
- 去年は中学生も参加して6つ未来ビジョンをつくる事ができた。
- 現在の不登校は学校や友だちの問題だけでなく、友だち関係は良好だが不登校になる子どももいる。
- 学力の向上について、中学生が薬科大学での授業を体験でき良かった。校長の言葉の「ねらい達成のためにタブレットを使う」や「規律を促す授業」など生徒の立ち居振る舞いからも分かる。
- コミ協芸術祭の野菜販売時のPR動画など中学生が作ったものは素晴らしい。地域の方々に観てもらう機会をもっと増やした方が良い。
- 地域の一員としての中学生はすごい。先生と子どもたちだけが頑張る教育ビジョンではなく、コミ協との連携、地域との協働をもっと取り入れ、中学生も企画だけでなく実際に実施してみても地域に提案すると良いと思った。
- 「中学生はすごい」と思った。コミ協主催の未来ビジョン作成で、地域の未来に向けての提言を立派に発表する中学生を見て、地域のことを真剣に考えていることが分かった。先日教育委員会主催のコミュニティスクール研修会に参加し、中学生や地域の人たちも参加して、地域と学校を真剣に考えている学校運営協議会があることを知り、これからは小合も良いところを参考に更に学校と地域双方向で地域協働を進めていくことが必要だと思った。
- 小合はアットホームで良いが他の地域の生徒と交わることも大事で今後他の学校と一緒に活動することも取入れて行くと良い。

令和6年度 小合中学校教育ビジョン

教育目標：自主 協力 創造

重点目標：自己管理能力の育成

目指す生徒像
○すすんでものごとを学び 努力する生徒 (自主)
○責任を重んじ 協力する生徒 (協力)
○向上意欲をもち 工夫する生徒 (創造)

目指す学校像
○地域に信頼され、地域と共に歩む学校
○誰もが安心安全に過ごすことのできる学校

学校・教職員の構え
(1) 指導と評価の一体化により、目指す資質・能力を育成する授業を行う。
(2) 保護者・地域と連携し、一体となって生徒の学びを支援する。
(3) 学校だけでなく、学年だより、ホームページなどで積極的に情報を発信する。

実践事項

生きてはたらく学力の育成
○「何を・なぜ学ぶか」を実感できる授業づくり
・必然性を感じて学ぶ授業を進めます。
・学び合う場面を意図的に設定して授業を進めます。
・学習のツールとしてICT活用を進めます。
○前に応じた学習支援
・生徒一人一人に合った支援を行います。

豊かな心の育成
○認め合い、支え合い、高め合う集団づくり
・一人一人が人権感覚を醸成し、差別やいじめを絶対に許さない学校であり続けます。
・特別活動(学級活動・生徒会活動)を活性化し、生徒による自治活動を促進します。
○いじめ、不登校の解消に向けた取組
・思いやりのある心でお互いを尊重する豊かな心を育成します。
・保護者、地域、関係機関との連携を密に行います。

健康・安全 体力の維持増進
○感染症対策の励行による、安心で安全な学校の維持
・家庭との連携による健康指導を行います。
○体力の向上を目指した教育活動の推進
・体育の授業を中核に体力の向上を図ります。
・課外活動(部活動)、特別活動(学校行事)の充実に努めます。

地域・社会に貢献する実践力の育成
○総合的な学習の時間を中核に、自己の生き方を考え、実践できる意欲と能力を育てます。
新潟市「食と農のわくわくSDGS学習」研究指定校(令和6年度)

一人一人を伸ばす特別支援教育の推進
○特別な配慮が必要な生徒の実態を十分に把握し、一人一人に合った支援を行います。

共に歩む地域の方々
地域と目指す生徒像を共有し、共に生徒の健全育成を推進します。
◎学校運営協議会 ◎小合中学校同窓会 ◎小合地区自治会・町内会
◎小合地域コミュニティ協議会 ◎小合中学校同窓会 ◎新潟薬科大学 ◎「ちあぎ」の会
◎小合地区民生委員児童委員協議会 ◎新潟薬科大学 ◎「ちあぎ」の会
◎小合ブロック青少年健全育成会

(2) 次年度の学校運営協議会合同会について各委員の意見

合同会は良いが、会のなかで出た意見をどう具体的に実施していくかが課題。分科会で大きな問題を検討することが必要。他の分科会の意見も聞きたい。子どもたちの意見を聞いてテーマを決めるのも良い。人数が多く意見がよく聞き取れないので工夫が必要。1回でなくもう少し回数増やしたらどうかなど、多くの意見が出ました。

3 その他

(1) 部活動の地域移行について

令和8年4月から部活動は地域団体に移行することを4月のPTA総会で説明していきたい。

(2) 次年度の学校運営協議会について

委員任期は2年で、この3月に任期満了となります。ご協力に感謝します。

4 閉会

いろんな意見をいただき本日はありがとうございました。

以上、今年度最後の「学校運営協議会」が行われ、活発な意見交換が行われました。

地域の皆様、今後も小合中学校の「学校運営協議会」をよろしくお願いたします。